

Notoくらぶ

就労移行支援・就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型・就労定着支援 (New)
放課後等デイサービス・相談支援・就労困難大学生支援 (New)

「気付き」で高める
はたらくチカラ

障害のある方の就労を「ワンストップ」でサポート

就労を目指す方の、利用ニーズを充足するために就労定着支援事業をプラスした多くのサービスでサポートします。

【CONTENTS】

- ・就労移行支援キャリアセンタープラスの新カリキュラム「SojiPro」のご紹介と5月のカレンダー
- ・就労定着支援事業「Noto カレッジ・ウィズ」サービス開始のご案内
- ・東海地区の就労困難大学生支援の取り組み
- ・今月の就職事例（キャリアセンタープラス）
- ・各事業部のご紹介

のとよーびのトピックス・お知らせ

生徒さん募集中！！

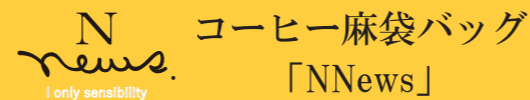
就労準備型「のとよーび」では、将来就労を目指す高校生に対し、働くチカラを身につけるトレーニングを行っています。働くイメージを持ちながらトレーニングすることや楽しみながら学ぶことはとても大切なことだと考えています。お子さんの将来を一人ひとりイメージしながら働くに繋がる支援をしていきます。早い時期に働くイメージをつけ、「可能性」につながる「気づきスイッチ」を見つけていきましょう。実践・コミュニケーション・機能トレーニングを中心に毎日たくさんのお子さんが頑張っています。

NotoBee のトピックス・お知らせ

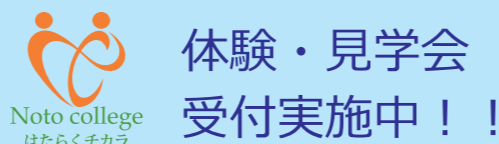
利用者募集中！！

私たち Noto カレッジが目指す「就労継続支援 B 型 / NotoBee (ノトビー)」は、利用される方たちに、『はたらくためのチカラ』を高めて、もっと社会で活躍するぞ！という気持ちをいつまでも持ち続けられる、そんな事業所を目指します。具体的な業務に、珈琲の麻袋を活用したトートバッグの制作業務があります。ハサミを使い解体する作業・アイロン掛け作業・ミシンを使う縫製作業などがあります。それ以外にも、パソコンのデータ入力作業や箱折りや袋詰めなどの軽作業もあり、利用される皆さんの可能な作業を行っています。

ワークセンターのトピックス・お知らせ



ネットでも販売しております。
ハンドメイドサイト minne にアクセス！



TEL 0584-77-7631
担当 加藤・田中まで

就労移行支援キャリアセンタープラスの 新カリキュラム「SojiPro」のご紹介と

5月のカレンダー



4月のSojiProは岐阜市で開催したイベントの企画と各部署への案内などを行いました。イベント企画は販売商品の選定から価格の決定、POP製作、予算管理などを行い、打合せ会議を実施し、役割分担をして実行していきます。また各部署への案内では、電話でアポイントを取って時間を取ってもらい、イベントの説明（プレゼン）を行います。このような内容の中で挨拶や言葉使い、電話対応や資料作成、予算管理の面では予算請求書の作成など実際の会社で行われるであろう業務を利用者さん主体で進めていきました。

時間も意識して行動します。スケジュールを立ててそれに沿って時計を見ながら行動ができていないか、納期に間に合っているかなど自分主導で意識できているかが問われます。SojiProを行ってきた中で時間への意識も高まり利用者さんの行動や表情が大きく変わってきています。

SojiProで学ぶことができる、周りの状況を見る、自分で考える、判断する、行動する、このような力が会社では必要だと考え、SojiProの中で得たたくさんの方の気づきを力に変えて社会に飛び立つてほしいと思います。SojiProは、そんな気づきのプログラムです。

- 5月17日 台本から学ぶ～一般常識非常識～
- 5月21日 「もっと自分を好きになる」自分との信頼関係の創り方講座
- 5月22日 スポーツ企画イベント
- 5月28日～30日 SojiPro

東海地区の就労困難大学生支援の取り組み

発達障害やコミュニケーションが苦手な学生のための 働くチカラ PROJECT 東海

Noto カレッジでは今年度も、障害者手帳をお持ちやコミュニケーションに苦手さのある大学、院生、短大、専門学校の方の就職に向けた働くチカラ PROJECT を開催します。大垣のNoto カレッジキャリアセンタープラスでもご相談・ご案内ができますので、ぜひご利用またはお気軽にご連絡ください。

お問合せは
☎0584-77-7631
担当 / 加藤

今月の就職事例 (キャリアセンタープラス)

最近就職されたMさんはとてもツッコミが上手い人でした。大学を卒業され一般就労をされましたが、研修期間で働くことが困難と気づかれ退職しNoto カレッジ就労移行支援キャリアセンタープラスの利用を開始しました。コミュニケーションや人前で話すことが苦手でありましたが、Mさんは毎日休むことなく通っていました。Noto に慣れてくるとグループワークの授業ではスタッフや利用者に対して的確で鋭いツッコミを入れ場を明るく賑やかにしてくれていました。朝に行われるスピーチではMさんの担当する日はいつも笑いで溢れていました。

施設外実習にも積極的に参加していました。施設外実習とは大垣の某印刷会社にスタッフと行き、そこで実際に働かれている方々と同じ作業を行うというものです。基本的に立ち仕事で行い、印刷されているものの封入作業や三つ折り作業を行います。

冬に開催された合同面接会に参加して実習へと進みました。実習は2週間行われました。初めての業務のため作業指示のメモを的確に取り、作業理解も早いと担当の方にお褒めの言葉をいただき順調に実習を終えました。実習でも休むことなく毎日通われたMさんは実習を終え、最終面接へと進みました。担当の方の採用の決め手となったものは色々な要因がありますが無遅刻無欠席で毎日通っていた実績が一番とのことでした。月曜日から金曜日まで毎日休まずに通い続けるということが一番の実績となり就労につながった就職事例でした。

就労定着支援事業 「Noto カレッジ・ウィズ」 サービス開始のご案内



Noto カレッジは、過去5年間で64名の卒業生(就職者)※定員10名を送り出し、その方たちの定着支援を行ったノウハウを活かした就労定着支援”Noto カレッジウィズ”を行っております。

就労定着支援事業とは、就労移行支援、就労継続A型、B型事業所から就職された方に対し、企業での雇用が継続できるように、利用者との相談を通じて生活面の課題を把握したり、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を行う事業で、入社後7か月目から最大3年間の利用が可能です。

就労定着支援では、毎月本人との面談と企業訪問を行うことによって状況を把握し、いかに負担なく仕事を長く続けられるかの支援を行います。また休日に就職者の交流会を実施し、日頃の緊張をリフレッシュする場も設けています。継続雇用のための調整と合わせて、本人の気持ちのケアも行うことで不安を少しでも解消できればと思います。個々の状況に合わせたアドバイスと関係調整を行い、本人さんの気持ちに寄り添うことを軸に助言等で支援を行います。